

健康福祉科学専修 保健医療福祉の実践者（健康情報学領域） 履修モデル

【期待される能力・修了後の主な進路】

健康情報学の実践能力を基礎に、福祉実践との連携をめざしてその実践力を高めるとともに、多様な対象者理解や、援助技法の拡大を図り、その活動に関する管理運営やマネジメントにおいてリーダーシップを担うことができる。

修了後は、保健医療福祉機関等において、指導的な立場で実践活動を行う。

2年次

【特別研究】

健康福祉科学特別研究Ⅰ（6）

健康福祉科学特別研究Ⅱ（6）

1年次

【共通必修科目】

IPW論（専門職連携実践論）（2）

【共通選択科目】

保健医療福祉概論（2）

保健医療福祉研究法特論（2）

保健医療福祉とリハビリテーション（2）

高次脳機能と病態制御（2）

【専門科目】

健康福祉社会調査論（2）

健康支援カウンセリング論（2）

健康教育評価法（2）

ソーシャルワーク特論（2）

【学士課程において身につけておくことが望まれる能力】

「生命科学」、「社会科学（含む行動科学）」、および「情報科学」等を駆使して、人々の健康に関して多角的なアプローチに興味・関心を有する者を求める。的確に情報を読み解き、納得いくまで考えて消化し、自分の言葉でわかりやすく伝える能力を有する者が望ましい。